

2021年度(令和3年度)学校評価自己評価表

大成館中学校区	校番28	福山市立神村小学校
最終更新日		2021年(令和3年)4月1日

I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心に、子ども主体の学びを実現し、確かな力を育成する。</p>
--

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>▶GIGA スクール構想を活用し、子どもが主体的に学ぶ授業改善を更に進めてほしい。</p> <p>▶児童生徒が安心して過ごせ「学校が楽しい」と感じる子どもを増やしてほしい。</p> <p>▶長期欠席・不登校児童生徒減に向け、一人ひとりの状況把握や個に合わせた指導を充実させてほしい。</p> <p>▶保護者、地域とコミュニケーションをしっかりと取り、児童生徒が安心・安全に過ごせる学校を創ってほしい。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>▶基礎学力の定着及び「読解力」等に課題がある。</p> <p>▶体力面の課題が改善しつつある。</p> <p>▶長欠児童生徒の削減が課題である。</p> <p>▶あいさつや無言掃除は、小中一貫した取組の成果が見られる。</p> <p>▶地域との交流により、郷土への愛着心が高まっている。</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>○相手意識をもって、自分の言葉で表現する力 ～コミュニケーション能力と思いやり～</p> <p>○自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力</p> <p>変化の激しい社会をたくましく生きる子ども</p> <p>1 基礎学力を身につけ、自ら学び続ける子</p> <p>2 運動・食習慣を身につけ、活力のある生活ができる子</p> <p>3 規範意識を身につけ、思いやりのある言動ができる子</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p> <p>1 学力向上…自ら考え学ぶ児童生徒の育成、家庭学習の定着</p> <p>2 体力向上…各校独自課題の克服、食育の推進</p> <p>3 連携教育…思いやりのある行動、小中歌声交流会等各種学校行事の交流、ふるさと学習の推進</p>
--	---	---

III 自校

<p>ミッション</p> <p>心豊かに自立・貢献・感謝する児童を育成し、保護者・地域から信頼され、共に歩む学校</p>	<p>学校教育目標</p> <p>心豊かに自立・貢献・感謝する児童の育成 ～自ら考え、表現する・やりきる・関わり合う神村っ子の育成～</p>	<p>現 状</p> <p><児童></p> <p>○自ら考え、表現する・やりきる・関わり合う力は意識できるようになり着実に高まってきている。</p> <p>●決められたことや指示されたことは、きちんとできるようになったが、主体的な学習や、行動は不十分である。</p> <p><授業></p> <p>○外国語活動では、ALTと連携し、担任がT1となり授業を計画実施し、児童の学習意欲を高め、英語好きな児童をふやすことができた。</p> <p>○縦割りの学習のなかで、児童が自分で選び、決める学びに意欲的に取り組んだ。</p> <p>●「子ども主体の学び」として、子どもが主体となって選ぶこと、決めることを増やすことが必要である。</p>	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>表現力</p> <p>課題発見・解決力</p> <p>主体性・やりきる力</p> <p>共感力</p>	<p>低</p> <p>相手に応じて、身近なことなどについて、事柄の順序を考え話す。大事なことを落とさないように書く。</p> <p>中</p> <p>相手や目的に応じ、考えたことや調べたことなどについて、筋道を立てて話す。自分の考えが相手に伝わるように理由や事例をあげて文章を書く。</p> <p>高</p> <p>目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて筋道を立てて的確に話す。目的や意図に応じ、考えなどを効果的に、文章に書く。</p>	<p>めざす子ども像</p> <p>様々な事象を多面的に見て、解決すべき課題を見出し、必要な情報を収集・分析しながら、創造的なアイデアを出し、解決し ていく。</p>	<p>研究 主題・内容等</p> <p>自分で選ぶ、自分で決める 子ども主体の学び</p>	<p>めざす授業の姿</p> <p>自分で選ぶ、自分で決めるなかで、知的好奇心・意欲を高め、学び続ける児童を育てる授業</p>
--	--	--	--	---	---	---	---

1	特別な配慮を必要とする児童への支援の充実	★	見直し	児童の特性に応じた授業づくり・支援による心の安定	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの学校づくり SC, SSWの効果的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校が楽しい」の児童評価90%以上 長期欠席者の割合を全児童の1%以下 											
1	保護者・地域から信頼される学校づくり		見直し	学校から積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> HPの充実 児童作品、ノート等の表彰掲示 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校の取組満足度」の保護者の肯定的評価が85%以上 											
				ESD教育の推進 住み続けられるまちづくりを	<ul style="list-style-type: none"> 教科横断的神村プログラム(「地域の人・こと・もの」から学ぶ)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「神村の町が好き」児童の肯定的評価90%以上 											
				働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 業務改善, 協働による着実な業務遂行 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務時間が月45時間超の職員 0人 											

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。